

---

# Salamander -炎の化神-

朱夜

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Salamander - 炎の化神 -

### 【Nコード】

N0977Z

### 【作者名】

朱夜

### 【あらすじ】

同盟国家の一つ、「リッド」そのリッドではある実験が行われていた。

それは、魔物の血を幼い子供に混入させると言う人体実験、「キメラ実験」だった。実験の末、一人の少年が実験の成功体第1号となった。コードナンバー「ゼロ」と名付けられた少年は、戦争で多くの人間を殺しつくした。しかし、いくら実験の成功体とはいえ、一人で相手を出来るのにも限りがある、結局リッドは敗北し、少年は「戦場奴隷」としてリッドに勝利した国で人体実験を受けつつ、戦

場に出続けた。

実験に実験を重ね、少年はついに「魔人」とまで呼ばれるようになった。

投与される薬が食事の変わりとなり、寝ることも許されず実験を続けられた少年は、ついに戦場で機能を停止してしまふ。

深い眠りについた少年が再び目を覚ますと、そこは「魔人」を悪とする世界となっていた。そんな折、大陸制覇を果たした帝国「アルカイザム」は用済みとなった魔人達に「衣食住を約束する」と言いだしたのだ。度重なる実験に耐え、戦争で多くの人間たちを殺してきた「子供」達はその見え透いた餌に飛びついたのだ。一人、また一人と狩られていく子供たちを余所に、コードナンバー「ゼロ」の少年は、4人の魔人を連れて逃げ出した。用が済めば消される、その程度の存在だったと言うことを知り、絶望する仲間たちの前に、女が現れる。

「作られし我が同胞達よ、我が城に来るがよい」

闇より現れた女に招かれる魔人達、女は自らを魔王と名乗り、その証拠にと被験者となった者達の体に流れる魔物の血や、そのほかの実験で混じった血を総べて抜き取り、元の「人間」へと戻したのである。

しかし、魔人の祖となる少年だけは、魔王の力を持つてしても治すことは叶わず、更に打ち明けられた真実に少年の答えは……



## プロローグ

同盟国家の一つ、「リッド」同盟国家の中では弱小国家に部類されるこの国では、今、非道な実験が行われていた。

それは、魔物の血を生れたての赤子に混入させるという物だ。

失敗に失敗を重ね、それでも他国を見返すために実験を続けるリッドの動向は、すぐに同盟国家の情報網に引つかかった。

しかし、偵察隊に出た他国の諜報員達は誰一人として戻らなかった。数年を経て得た情報は、リッドの近隣には化け物が出るという不確かな情報だけ、それを確認しようにも、確認を行った者が一人として帰ってこなかったのだから、真偽の程は定かである。

場所は変わり、リッド国内、王城の地下には無数の牢獄があった。

元々国内の治安の悪かったリッドでは、増築による牢屋の数だけ地下に階層がある。

1階層には窃盗や強盗など、比較的軽い罪の者から、2階層には殺人や殺戮など、人を殺めた者が入れられている、そして3階層、ここは一つしか牢屋が存在せず、しかしその大きさはかなりある。

大きさだけではない、そこに入れられている者達にも、問題はあった。

年端もいかぬ子供、生まれたての赤ん坊、男女問わずにそこに入れられているのだ。

そこにいる子供は、横たわり、一部が白骨化し、蛆が沸き、死臭がする。

その悪臭の中でも赤ん坊は元気に泣き、尿や糞を漏らす。

不衛生極まりないこの牢獄の中で一人、清潔な赤ん坊がいた。白い布にくるまれた赤毛の赤ん坊だ。

閉じられた目は開かれることはないが、息はしている。その牢獄に、3人の大人が入ってきた。

全員が白衣を纏っている。

「チツ、くせえなあ」

先頭で入ってきた男が鼻をつまみながら言う。

「見つけた、このガキだな」

男の言葉に反応せず、別の男が清潔な赤ん坊を取り上げた。

「こいつで最後だったな、どうするんだ？ もうリッドにガキはいねえぞ」

その赤ん坊を覗き込み、最後に入ってきた男が言った。

「赤ん坊のほう成功率がいいとか抜かしやがる、だけど年がら年中赤ん坊が生まれる訳でもねーのによお」

先頭で入ってきた男は返事を返されることに何のリアクションも抱かず、愚痴を漏らす。

「ぐだぐだ言ってる暇があったら仕事に戻るぞ、あと少しでここは清掃されるんだ」

いい加減うざったくなくなってきたのか、子供を抱えた男が言った。

「ああ、そうだな」

最後に入ってきた男が答えると、男たちは牢を出て行った。

それから少しして、マスクをした数十人の男たちが入ってくる。

何人かの男たちは、車輪付きの大きな籠をひいている。

男たちは子供の「死体」を籠に入れると牢の外に出した。

残った男たちの一人が、牢の一角を見てうなずいた。

するとどうだろうか、牢の天井から水が出てきたではないか、水は

男たちの踝辺りまでで止まり、それ以降は出てこなかった。

男たちは掃除用具のようなものを手に、牢の掃除を始めた。

そう、この牢こそが今リッドで行われている実験を受けている被験者達の「家」なのだ。

明日、またはそれ以降から来るであろう被験者のために家を一度「掃除」しているのだ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0977z/>

---

Salamander -炎の化神-

2011年12月3日19時57分発行